



News Letter



第13号

大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel: 06-6263-9753, Fax: 06-6263-9773
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@takenaka.co.jp

新年パーティ 2007年1月19日(金)

大阪日米協会と大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会、大阪・シカゴ協会共催の新年パーティが、200名を超えるご参加をいただき、リーガロイヤルホテルで盛大に開催されました。竹中会長の挨拶、関大阪市長の来賓挨拶に続き、ライコク米国領事、大阪・シカゴ協会の雲川副会長、大阪日米協会の松下副会長、バート副会長も加わって恒例の鏡開きが行われ、ライコク領事のご発声で乾杯しました。アトラクションには、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンからエンターテイナーが特別出演し、パーティムードを盛り上げました。また、三角くじ、福引抽選会には、今年も米国総領事館や法人会員各社から素晴らしい協賛の品を多数頂戴しました。ご協力くださった皆様に心より御礼申し上げます。



吉田さん(左)とユナイテッド航空の石井さん



ノースウエスト航空の航空券を獲得した堤さん



＜当選者の声＞

「HAPPYな幕開け」

吉田 翠さん(川西市)

「私の当たり券は航空券ね」と冗談を言っていた矢先に自分の番号が呼ばれて、夢の中にいるのかと思いました。夢ならさめないで！と思っている間に現実と認識し、喜びが再燃しました。HAPPYな幕開け、ありがとうございました。

「まさかの大当たり」

堤 政夫さん(豊中市)

これまでくじ引きには全くというほど縁が薄く、お年玉年賀葉書の切手でさえ1、2枚当たるか否かのくじ運のなさの小生。当日も他人事でのくじ引き見学で友人の当たりに大喜び。気付くと当たり番号がコールされ米国航空券の大当たり。親友からの同行申し入れが多数で、さて、いかがしたものか(本命は当然ワイフですが.....)

シーファー駐日米国大使昼食講演会 ～大阪日米協会60周年記念講演～ 2006年12月1日(金)

大阪日米協会創設60周年を記念して、トーマス・シーファー駐日米国大使をお迎えして昼食講演会を開催しました。天江喜七郎関西担当大使、関淳一大阪市長ら名誉会員の方々や、関西経済連合会の秋山喜久会長はじめ大阪商工会議所と関西経済同友会の代表者もお招きしました。報道関係者を含め約150名が出席した講演会で、シーファー大使は「日米関係と東アジア情勢」についてお話しになり、「米国の対アジア関係は強力な日米の同盟関係があつてこそである」と日米関係の重要性を改めて強調されました。また質疑応答のなかで、戦後60年の協会の歴史に触れ、かつて先人が展望を持って行動を起こしたように、我々も未来への展望のもとづいて行動することが大切と述べられました。



スケジュール

2007年3月25日(日)

大相撲春場所観戦と大相撲談議

場所: ハートンホテル心斎橋/大阪府立体育会館

今年の大相撲談議には、NHK衛星放送で大相撲の英語解説を10年間担当されているドリー・シモンズさんをお招きします。



4月14日(土)

春の日帰り旅行 ～京都方面～

5月19日(土)

関西日英協会共催ゴルフ大会
場所: 神戸ゴルフ倶楽部

サンフランシスコ・大阪姉妹都市契約50周年を迎えて

サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会(以下、協会)は、今年の10月に50周年を迎えます。米国で姉妹都市として50周年を迎えるのはサンフランシスコ・大阪が初めてだと聞いています。さて、50周年を迎えて協会は、色々な企画を考えていますので、企画中のものも含めて以下ご紹介いたします。

- ・2月16日～22日: サンフランシスコ・ニューソム市長を団長とする約30名の訪日団が大阪を訪問。大阪市長との交歓会、大阪大学から名誉博士号の授与等。
- ・4月第2・3週末: 桜祭り(最後の日曜日には、恒例の山車によるパレードがある)
- ・6月2日～9月9日: 手塚治虫マンガ展をアジア美術館で開催
- ・9月初旬: 関大阪市長訪問団のSF訪問
- ・9月29日～10月18日: 「文楽」米国公演ツアー
- ・10月15日～22日: サンフランシスコ料理団大阪訪問

このほかに、計画中のイベントもあります。50周年を機会に大阪からも、多くの参加者があることを期待しています。また、これら行事を通して、次なる100周年に向けて、さらに深まる友好関係の基盤としていきたいと願っています。



松浦 功 副会長
北加日米協会/
SF大阪姉妹都市協会

近畿大学吹奏楽部、ワシントン大学ウインドアンサンブルと共演

皆様こんにちは! この度は大阪日米協会の会報誌に私どもの紹介記事を掲載いただけたとのこと、大変光栄に存じます。私ども、近畿大学吹奏楽部は1962年の創部以来、大学行事はもちろんのこと、国内外を問わず数多くの演奏をさせていただいてまいりました。海外遠征では、韓国を初めとして、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの各国での演奏旅行、最近では2006年3月にハワイにおける「ホノルルフェスティバル」への出演等々、海外との文化交流や国際親善も担っての演奏活動を盛んに行っております。国内では全日本吹奏楽コンクールでは過去5年連続金賞受賞による3度の特別演奏を含め、通算23回出場、16回の金賞を受賞しております。全国各地での演奏会を初めとして、シンフォニーとマーチングの両立を目指し、幅広い活動を積極的に行っております。今回は3月16日(金)に、ワシントン大学ウインドアンサンブルとのジョイントコンサートが控えております。協会員の皆様には是非ともご来場いただきたく存じます。詳しくはHP(<http://www.d1.dion.ne.jp/~kinsui/index.html>)で。



会員便り



端崎 優子さん
(関西テレビ)

アメリカの魅力
アメリカの魅力はたくさんありますが、私にとって最も印象深いのは多彩なライブ・エンターテインメントです。初めての出会いにはオフ・ブロードウェイでのブルーマングループで、その後もブロードウェイとオフ・ブロードウェイ、ラスベガスのショーなどジャンルを問わず、魅了され続けています。そして、そのエンターテインメントの開口の広さにはいつも感動しています。より多くの方に楽しんでもらいたいという精神が感じられるのです。昨年の夏休みにニューヨークを訪れたときは、メトロポリタン歌劇場のオペラ「蝶々夫人」の開幕直前でした。歌劇場は多くの方にオペラに親しんでもらうために、通常は観劇できない通し稽古を一般の方に開放し、また、初日のライブ映像をタイムズスクエアとリンカーンセンターで放映しました。広報活動の一環とはいえ、その心意気に拍手を送りました。今年の大阪日米協会新年パーティにユニバーサル・スタジオ・ジャパンの特別なパフォーマンスがありましたのも、なんとともうれい演出でした!



熊谷 俊樹さん
(京都市)

日米の狭間で31年

小生のアメリカとの出会いは、今から45年ほど前、京都アメリカ文化センターに通っていたころです。米国ではケネディー政権のころでした。その後、縁あって駐日米大使館広報文化局に就職、大阪アメリカン・センターで働くことになりました。それ以来2003年まで、日米の狭間で、言わば、日本の中のアメリカで31年間、ブリック・ディプロマシー(広報外交)活動に携わってきました。米国から著名な専門家を招いて、講演会やシンポジウム、会議等を数多く開催して、日米間の相互理解の促進と大学における「アメリカ研究」の普及にも微力ながら関わることができたことは、いま、大学(京都外国語大学)で教育・研究面のみならず、国際交流の面でも大変役に立っています。歴代米大統領をはじめ政府要人の訪日の際には、その準備・支援活動にも微力ながら関わりました。その主なものには、1970年代中頃のフォード大統領の京都訪問、86年のG7東京サミット、89年と92年のブッシュ前大統領の訪日、95年のAPEC大阪会議、96年と98年のクリントン大統領の訪日、2000年のG8九州・沖縄サミット、2002年のブッシュ現大統領の訪日等がありました。東京の首相官邸で両首脳の記者会見の準備等に関わったことも忘れがたい思い出です。「アメリカ」という国は素晴らしい国です。日本人でも31年も政府に勤めると、何かそれなりの功績を称えてくれます。「国務長官賞」という名誉ある賞と勲章が授与されました。産経新聞にインタビュー記事が掲載されたときには、改めて米政府に対する感謝の気持ちが高まりました。大阪日米協会の活動を通して、今後も日米の友好・親善ならびに相互理解が益々深まることを心より願っています。

「ウルフィーからの手紙」翻訳



滝沢 岩雄さん
(高槻市)

米国の女性作家、パティ・シャーロックさん原作の『ウルフィーからの手紙』を翻訳、評論社(東京)から昨年末、出版しました。時代背景は1969年、ベトナム戦争時の米国。ウルフィーは13歳のマーク少年の愛犬。心が広く、いつも周囲の人々を和ませる3歳のシェパードですが、兄のダニーがベトナムで従軍、その兄や仲間の兵士たちを敵の襲撃から守ろうと、この愛犬を軍用犬として軍部に提供することから物語が始まります。アメリカ陸軍のフォートベニング基地で訓練されたウルフィーは偵察犬としてベトナムで英雄的に活躍、何人もの兵士を救います。やがて、ベトナムからウルフィーの名で手紙が届き始めます。一方、兵士は1年で帰国できるのに軍用犬は軍の装備になり、いつマーク少年のもとに帰れるかわかりません。マーク少年はウルフィーの返還のため、教師や学友たちと協力、デモを組織します。ウルフィーとマーク少年、兵士たちとの心の交流、少年同士の友情や少女クレアとの淡い恋とマークの肉体的成長を縦軸に、パトリオティズムと時の政府への抵抗権や表現の自由というアメリカンデモクラシーのせめぎ合いを横軸に、見事にストーリー展開されていきます。実話に基づく痛切な小説ですが、これ以上は本を読んでもらうほかありません。また、原作の発表が2004年ですからイラク戦争が作者の視野に入っています。冷戦下の「対共産主義」としてのベトナム戦争と冷戦後の「テロリズムとの戦い」としてのイラク戦争を簡単に比較できませんが、イラク戦争をめぐる米国世論の分裂を予兆させる洞察力に富んだ小説です。翻訳にあたって何人かの関西在住の米国人にも協力を得られ、感謝しています。



会長のひとりごと

新年パーティーには関大阪市長、ライコック領事ははじめ多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。また、ご協賛いただきました皆様にも、厚く御礼申し上げます。今回は私の米国とのご縁についてご紹介いたします。1965年にミシガン大学の語学学校に通ったのが、その始まりです。当時の米国は公民権運動やベトナム戦争の反戦が叫ばれる時代、他方、日本は高度経済成長の真っ只中でした。翌年、イースト・ランシングという街にあるミシガン州立大学のビジネススクールに入学し、教室にほど近いオーエン・ホール・ドミトリイに入りました。校内バスが走るキャンパスの中にはゴルフ場が2つもあり、その大きさに驚かされました。そこで初めてプレーしたゴルフは、今では私の一番の趣味となりました。2年間過ごしたこの街は、様々な人との出会いもあり、「アメリカの故郷」とも言える場所です。本協会の会長を務めることで、米国で受けたご恩に少しでも報いることができたなら嬉しいと思います。



会員便りにご投稿下さい

原稿締切: 掲載希望月の前月20日頃

文字数: 日本語⇒500文字程度

英文⇒250word程度

写真: できればデジタル画像が望ましい

送付: 郵便、Fax、E-mailにて事務局宛送付

◆新入会員紹介◆

個人会員

デルガド、パベル(神戸市)

藤田 和美(堺市)

石野 順子(芦屋市)

香川 武一(神戸市)

久保 昌徳(大阪市)

西村 新一郎(京都市)

奥野 真英(貝塚市)

田中 稔章(川西市)

鶴岡 龍太郎(西宮市)

内田 勉(長岡京市)

春木 眞砂子(和泉市)

吉 よし江(京都市)

加藤 玉恵(神戸市)

家族会員

ピンバッジ発売のお知らせ

60周年を記念して大阪日米協会のピンバッジを作成いたしました。イベント時に受付で販売しております。1つ1,000円です。



編集後記

昨年12月のシーファー大使昼食講演会、1月の新年パーティも盛況の内に終えることができました。新年パーティでは、例年通り会員様よりたくさんのご協賛を頂戴し、また、200名を超える方にご参加いただきました。ありがとうございました。また、60周年を記念して、JASOのバッジを作成いたしました。男性にも女性にもつけていただきやすいデザインにしたつもりですので、是非、ご購入ください。最初の150個には裏に60周年を記念する「60th」を刻印しています。(事務局)

(敬称略)



News Letter



Vol.13

大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

4-1-13 Honmachi, Chuo-ku, Osaka, 〒541-0053, Japan Tel: 06-6263-9753, Fax: 06-6263-9773
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@takenaka.co.jp

New Year's Reception

January 19, 2007 (Fri)

The annual party co-hosted by Japan-America Society of Osaka, Osaka-San Francisco Sister City Association and Osaka-Chicago Association was held at Rihga Royal Hotel with more than 200 guests. Following the JASO President Takenaka's greetings, Osaka City Mayor Seki gave a speech. Consul Laycock, OCA Vice President Kumokawa, JASO Vice Presidents M. Matsushita and J. Burt joined the Kagamibiraki ceremony and Consul Laycock proposed a toast. The entertainers we invited from the Universal Studio Japan for this year's attraction boosted the party mood with their fun musical performance. We received many generous donations from our corporate members and American Consulate General for the lottery and draw. Thanks to your kind support, we had a wonderful New Year's party. We wish you all the best in 2007!



Ms. Yoshida (left) with Mr. Ishii of United Airlines



Mr. Tsutsumi won North West Airlines' tickets

<Winners' Voice>

HAPPY New Year!

Midori Yoshida (Kawanishi)

"My prize must be the flight tickets, then." I was joking when my number was called. I thought I was dreaming. As the reality sank in, I got really excited. What a happy beginning of a new year! Thank you very much!

What a surprise!

Masao Tsutsumi (Toyonaka)

I have never been lucky in lotteries. Even with New Year's lottery post cards, I have only won a few stamps. I was watching the lottery draw at the party like a spectator, cheering for my friend who won a prize, when my number was called. I won the flight tickets to the US! Now, many friends offer to accompany me. Well, I will probably go with my wife after all, my friends!

Luncheon Lecture with Ambassador Thomas Schieffer -JASO 60th Anniversary Special Lecture- December 1, 2006 (Fri)

We held a luncheon lecture with Ambassador J. Thomas Schieffer to commemorate the 60th anniversary of the Japan-America Society of Osaka. Honorary members including Ambassador for the Kansai Area Kishichiro Amae and Osaka City Mayor Junichi Seki attended the event, and we also had President Yoshihisa Akiyama of Kansai Economic Federation and other representatives from local economic organizations. To the audience of about 150 people including media reporters, Ambassador Schieffer spoke about Japan-US relations and situation in East Asia and reiterated the importance of Japan-US ties saying that U.S. relations in Asia begin with a strong Japanese-American alliance. He also mentioned the 60 years of JASO's history after the war in the Q&A session and said that we should act on the vision we have for the future just as our predecessors acted on their vision of the past.



Upcoming Events

March 25, 2007 (Sun)

Spring Sumo Tournament & Lecture

Venues: Hearton Hotel Shinsaibashi
Osaka Prefectural Gymnasium

Mrs. Doreen Simmons, English commentator for NHK BS broadcast for over a decade, will give us a fun and informative lecture before the Sumo matches.



April 14, 2007 (Sat)

Spring Day Trip - Kyoto

May 19, 2007 (Sat)

JASO & JBSK Joint Golf Competition
at Kobe Golf Club

SF / Osaka Sister City Relationship 50th Anniversary Celebration

San Francisco / Osaka Sister City Association (SFOSCA) will be celebrating its 50th Anniversary this coming October. Among the many sister cities in the U.S., San Francisco / Osaka will be the first to celebrate 50th Anniversary. SFOSCA is planning many events to celebrate this special occasion. Following is the list of upcoming events.

*Feb.16-22: SF Delegation led by Mayor Newsom to Osaka. Events include formal reception with Mayor of Osaka, and awarding ceremony of an honorary doctorate degree from Osaka University to Mayor Newsom.

*April 14-15, 21-22: San Francisco Cherry Blossom Festival (There will be a festival float parade on the last Sunday.)

*June 2-Sept. 9: Exhibition of Tezuka Osamu Manga at SF Asian Art Museum

*Early September: Osaka Delegation led by Mayor Seki to SF.

*Sept. 29-Oct. 18: Bunraku U.S. Tour.

*Oct. 15-22: San Francisco Culinary Cuisine Tour to Osaka.

There are also many other events that are still in the planning stage. We would like to have many participants from Osaka with this 50th Anniversary celebration. We also hope to strengthen our foundation of friendship through these events and look forward to the 100th Anniversary.



Isao "Steve" Matsuura
Japan Society &
SFOSCA Vice Chair

Kinki University Band plays with University of Washington Wind Ensemble

Kinki University Band was formed in 1962 and has been performing at many events at home and abroad as well as at our university events. We have played in Korea, Europe, Australia, and the United States --- most recently in Hawaii at Honolulu Festival in March 2006. We try to promote international cultural exchanges and goodwill through our activities. In Japan, we participated in the All Japan Band Competitions 23 times in the past and won the gold prize 15 times including 5 consecutive winnings. The Kinki University Band is working on both symphony and marching, doing concerts and many kinds of activities all over Japan. This time we are holding a joint concert with University of Washington Wind Ensemble on Friday, March 16. We look forward to seeing many of you then. You can get more information on our website. (<http://www.d1.dion.ne.jp/~kinsui/index.html>)



Member's Column



Yuko Hashizaki
Kansai Telecasting Corp.

Of all the beauties America possesses, for me, the innumerable amount of live entertainment is the most impressive. My first encounter was with the Blue Man Group, on Off Broadway, and after that I have been fascinated by all genres, such as Broadway, Off-Broadway and shows in Las Vegas. In particular, I am most impressed by how American entertainment appeals to an almost unbounded audience. There is the spirit to let as many people as possible participate and enjoy. When I visited New York last summer, the Metropolitan Opera was just about to open its season with "Madame Butterfly". To familiarize non-opera fans with opera, the Met opened its dress rehearsals to the public, and also showed live footage of opening night on screens in Times Square and Lincoln Center Plaza. Even if this was in the name of publicity, I truly applaud this spirit. The special performance from Universal Studios Japan at the New Year's Reception this year was a great treat for me!

Beauties of America

Of all the beauties America possesses, for me, the innumerable amount of live entertainment is the most impressive. My first encounter was with the Blue Man Group, on Off Broadway, and after that I have been fascinated by all genres, such as Broadway, Off-Broadway and shows in Las Vegas. In particular, I am most impressed by how American entertainment appeals to an almost unbounded audience. There is the spirit to let as many people as possible participate and enjoy. When I visited New York last summer, the Metropolitan Opera was just about to open its season with "Madame Butterfly". To familiarize non-opera fans with opera, the Met opened its dress rehearsals to the public, and also showed live footage of opening night on screens in Times Square and Lincoln Center Plaza. Even if this was in the name of publicity, I truly applaud this spirit. The special performance from Universal Studios Japan at the New Year's Reception this year was a great treat for me!



Toshiki Kumagai
(Kyoto)

31 Years of Service with the U.S. Government

My dedication to United States-Japan relations began some 45 years ago at the American Cultural Center (ACC) in Kyoto when John F. Kennedy was the President of the United States. Then, in 1972, I was fortunate enough to be employed by the U.S. Information Service, U.S. Embassy Tokyo, and worked at the USIS American Center in Osaka (formerly, ACC). This led to a 31-year engagement in U.S. public diplomacy activities. Predominantly, I was responsible for planning and executing countless lectures, symposia, and teleconferences.

These were conducted so as to enhance mutual understanding between the U.S. and Japan, and to promote "American Studies" in higher education. Such "hands-on" experiences still influence my present career in academia with Kyoto University of Foreign Studies. Of the most challenging tasks whilst serving for the U.S. government was to support Presidential and Vice Presidential visits to Japan. Notable VIP visits in which I was involved were: President Ford's visit to Kyoto in the mid-1970s; the G7 Tokyo Summit in 1986; George H.W. Bush's visit to Tokyo in 1989, and to Kansai in 1992; the APEC Osaka Conference in 1995; President Bill Clinton's visit to Tokyo in 1996 and 98; the G8 Kyushu-Okinawa Summit in 2000; and President George W. Bush's visit to Tokyo in 2002. A highlight of my professional career was to be honored by the former U.S. Secretary of State, Colin L. Powell. The Secretary's Career Achievement Award and Medal were granted on my retirement. This was followed up by an interview which featured in the Sankei newspaper. Therefore, it is my hope that the strengthening of ties between the U.S. and Japan continue through the organization of "grass-roots" activities by the Japan-America Society of Osaka.



Iwao Takizawa
(Takatsuki)

Letters From Wolfie

I translated "Letters From Wolfie" by Patti Sherlock, an American writer, and published it from Hyoronsha (Tokyo) at the end of last year. The novel is set in the United States in 1969 during the Vietnam War. Wolfie is Mark's beloved dog, a 3-year-old German shepherd with a big affectionate heart. The story begins when Mark's brother Danny goes to the war and Mark, a 13-year-old boy, decides to offer Wolfie to the army as a military dog to help protect his brother and fellow soldiers from enemy attacks. Trained at the Fort Benning Base, Wolfie saves many lives in Vietnam with his heroic performances as a scout dog. Mark starts receiving letters from Vietnam in Wolfie's name. While soldiers get to come home after a year's service, military dogs are classified as equipment and no one knows when they will be returned to their owners. With help from his school teacher and classmates, Mark organizes a demonstration to get Wolfie back. Bonds between Mark and Wolfie, Wolfie and the soldiers, Mark's friendship with his friends, relationship with a girl named Clair, and his growth as a person --- the author weaves a beautiful story from these threads as the warp and the conflict between patriotism and American democracy represented by the right of resistance and freedom of expression as the weft. It is a heartbreaking story inspired by real events. Since its release was in 2004, the Iraq War is on the author's mind. It may not be appropriate to compare the Vietnam War during the Cold War against communism to the "war against terrorism" in Iraq in the post Cold War era, but this is an insightful novel that foresees the division in public opinion in the States on the Iraq War. I appreciate the assistance of some American friends in Kansai in its translation.



Soliloquy

We were pleased to have Osaka Mayor Seki, Consul Laycock and many other members at the New Year's Reception. We also greatly appreciate the generous donations from our members. Today, I would like to talk about my early connections with the United States. It started when I went to the language school at the University of Michigan in 1965. The United States was going through the civil rights and anti-Vietnam War movements, while Japan was in the midst of the rapid economic growth. In the following year, I entered the business school at Michigan State University in East Lansing and moved into the Owen Hall dormitory near the school. I was amazed with the huge campus with its own bus service and two golf courses. I played golf for the first time there and it became my favorite pastime. East Lansing is almost like my second home in the States where I spent two years and met a lot of people. It would be my pleasure if I could return some of the favor that I received in the U.S. by serving as president of this Society.



Write for the Member's Column - ◆ New members ◆

Deadline of Contribution:

20th day of previous month for planned publication

Number of words: Japanese ⇒ about 500 characters

English ⇒ about 250 words

Photograph: Digital picture if possible

Dispatch Method: Mail, Fax or E-mail to JASO office

JASO Emblem Pin Now Available

We produced JASO emblem pins to commemorate the 60th anniversary. It is available at our events at 1,000 yen.



Individual Members

Delgado, Pabel (Kobe)
Fujita, Kazumi (Sakai)
Ishino, Junko (Ashiya)
Kagawa, Takeichi (Kobe)

Kubo, Masanori (Osaka)
Nishimura, Shin-Ichiro (Kyoto)
Okuno, Masahide (Kaizuka)
Tanaka, Toshiaki (Kawanishi)

Tsuruzono, Ryutaro (Nishinomiya)
Uchida, Tsutomu (Nagaokakyo)
Zetsu, Yoshie (Kyoto)

Family Members

Haruki, Masako (Izumi)
Kato, Tamae (Kobe)

Notes We are happy to say that Ambassador Schieffer's Luncheon Lecture in December and the New Year's Reception in January were very successful. More than 200 people showed up at the New Year's Reception and we received a lot of donations from our members again this year. Thank you! Also, we produced JASO emblem pins to commemorate the 60th anniversary. We designed it to be suitable for both men and women. The first 150 pins are engraved "60th" on the reverse. (JASO Office)